## 3学年通信

R 2. 9. 14 発行 N o. 26 文責 冨所 淳子 震災講話を聞いて9年前を思い出しました。息子は中学3年生で、卒業式前日に中止を言い渡されたのに、結果、次の日実施されたのでした。②②②

## 

宿泊先は、「南三陸ホテル観洋」です。ホテルの方とともに、「NHK仙台」の取材班が出迎えてくれました。 早速、取材を受けた人たち多数。(残念ながら、放送された場面は少数でしたが・・・。)

ホテルのスタッフで、"防災士"や"語り部バスガイド"も務める、伊藤俊さんから、「震災講話」をお聞きしました。東日本大震災の体験談や、ホテルが避難所になった時の運営の様子、また、経験を通して私たちに伝えたい物心両面での日頃の準備の重要性など、ここでしか聞けない貴重なお話を聞かせていただきました。震災時は、まだ幼く、あまり記憶がないであろう皆さんにも、きっと伊藤さんの思いは伝わったと思います。

夕食もお風呂も、ホテルの方の気配りが行き届いた中で堪能することができました。夕食のデザートの追加をお願いしたところ、南三陸の土産としても大人気だという「お山のマドレーヌ」を紹介していただきました。 皆さん、お気に召したでしょうか?





撮影中です。 入館式の模様も









さすが、南三陸!刺身、焼き魚、かにサラダ、海老 チリ、海鮮茶わん蒸しなど、海の幸が満載です!





です。本当にありがたいことです。が実施できたのは、多くの方の支えのおかげキャンセルが続いていたそうです。修学旅行副支配人の昆野さんのご挨拶。この日も、